

25日デリー→シュラーヴァステイー

■マヘート 舎衛城

釈尊在世当時の大国コーサラ国の都

■サヘート 祇園精舎

ブッダが25回も安居を行った場所

28日

■ヴァイシャリー

ブッダ、最後の雨安居の地

◇ブッダ・レリック・ストゥーパ

ブッダの舎利の出土した所

◇アショーカ王石柱

アショーカ王(マウリア王朝三代目、仏教を保護)

28日午後

パトナへ

空路、デリーへ

29日

デリーにて、観光し、

3月1日朝、成田着。

26日

■ピプラーワー、シャカ族王宮跡(カピラ城、カピラヴァッツ)

ブッダが青春時代を過ごした所。

■ルンビニー、ネパール領

ブッダ、誕生の地(コーリア国デーヴァダハへ行く途中)

新マヤ堂、アショーカ王石柱、誕生池

27日

■クシナガラ、ブッダ涅槃の地

涅槃堂、茶毘塚

最後の沐浴の地

最期の説法の地

チュンダ(ブッダに最後の食事の供養をした人)の村



インド佛跡巡拝を控えて

ブッダ、最期の旅の地を訪ねて

加茂法話会 平成二十四年二月二十日  
 二十三日成田泊  
 二十四日十一時二五分成田発↓デリー着十八時二十分  
 (十時差三時間三十分、日本時間二十二時五十分)

■茶毘塚にて、導師を勤めさせて頂くに当たり

再訪天竺

春風二月好因縁

入竺児孫見古賢

十八載前圓寂地

春風二月好因縁

入竺児孫古賢に見(まみ)ゆ

十八載前圓寂の地

茶毘塚下意綿々

だ  
び  
ち  
よ  
う  
か  
茶毘塚下意綿々たり

■平成六年二月に「インドネパール釈尊四大聖地拝登」の旅の帰りの機中で

今、三十八歳の誕生日の朝、シンガポール航空 Boeing747-300 の機中、すばらしい朝焼けを見て迎えております。(すばらしい朝焼けを拝み、熱いものがこみ上げて来ております。)自らの足で仏教の祖 お釈迦様の歩まれた道を踏ませていただき、日本へ帰る途、このような勝縁にめぐまれたことはまことに有り難いことです。この感謝を胸にこれからも一層の精進を重ねていきたいと思えます。

また、機内スチュワーデスさんより、誕生日のケーキをプレゼントしていただきました。有り難い心配りに感謝しております。あと、30数分で名古屋に降り、家族の待つ寺へと帰ります。この深い感銘を忘れず家族・行かせてくださった檀信徒の皆様への感謝を忘れず生きていきたいと思えます。

(二月十七日 七時五七分 機中にて)

